

自治財政局調整課調整係長

西崎 吏

NISHIZAKI TSUKASA

平成 16 年 4 月 総務省採用

消防庁総務課

平成 17 年 4 月 自治税務局固定資産税課

平成 17 年 10 月 長崎県地域振興部地域政策課

平成 18 年 4 月 同 地域振興部市町振興課

平成 19 年 10 月 総務省自治行政局選挙部管理課

平成 22 年 4 月 自治行政局選挙部管理課選挙啓発係長

平成 23 年 4 月 自治財政局調整課企画係長

平成 25 年 4 月 自治財政局調整課社会保障制度係長

平成 26 年 4 月 各務原市企画総務部財政課長

平成 29 年 4 月 現 職

地方負担を伴う他省庁の施策を調整

地方財政に関する他省庁の窓口

国(他省庁)が法律・予算に基づいて新しく事業を実施したり、既存の事業を拡充したりする場合に、地方自治体に対して一定の財政負担を求めることがあります。現在の職場では、国と地方の役割分担の観点から、そもそも地方自治体に負担を求めることが適当かどうか、仮に負担することが妥当であったとしても負担割合が適当かどうかを整理し、地方自治体の負担についてどのような地方財政措置を行うかということを検討します。

今年度は、文部科学省の担当として、2020年4月から実施される予定の高等教育の無償化について、国と地方の役割分担や費用負担割合の調整に関わりました。支援の対象となる学生への授業料等の減免に必要な費用を国と地方のどちらが負担するのか、大学等の設置者の役割の観点や私立学校の所轄等を考慮しつつ、地方の意見も踏まえて調整が進み、年末の関係閣僚会合で国と地方の負担割合を含めて制度の具体化に向けた方針が合意されました。

地方自治体での勤務を振り返って

これまでの仕事の経験から、国で制度設計されたものが地方自治体でどのように執行されているか、執行に当たって課題となっているようなことはないか、住民に身近な行政サービスの担い手である市町村の立場から見てみたいと思い、地方自治体への勤務を希望しました。

市では財政課長として、中期財政計画の策定や予算編成、決算監査への対応に加え、市議会での議案説明や質問への答弁など、貴重な経験をすることができました。市の総合計画の下、毎年策定する予算編成方針に沿って限られた予算をどこに振り向けるか、市長の思いや財政状況を踏まえつつ、各所と調整するという仕事を通じて、市が目指すまちづくりに大きく関わることができました。市が運営する航空宇宙科学博物館のリニューアル事業の実施に伴う財源確保の課題がありましたが、国庫補助の対象となるように関係課と苦労をしながら事業スキームを検討し、採択につながったことが印象に残っています。



Q 地方自治体への赴任経験が総務省のどのような仕事に活かしましたか？

A 現在の職場は、地方財政に関する他省庁の窓口になっています。他省庁が実施しようとする事業で、地方自治体の財政負担を伴うものについて地方財政措置の要望を受け、査定することが主な仕事のひとつです。同時に、他省庁からは、どうすれば自らの事業を地方自治体で円滑かつ有効に進めることができるか、知恵やアドバイスを求められることもあります。また、地方負担を伴う国の施策に関して、地方から意見を聞きながら関係省庁に改善を求めることも主な仕事のひとつです。地方自治体への赴任経験は、現場のイメージを持って具体的に考えられるという点で、現在の仕事に活きていると思います。

Q 一緒に働くならどんな部下がよいですか？

A 明るく前向きで、フットワークが軽い人がよいと思います。あれこれ悩んでしまうと前に進まなくなりますので、とりあえず手を動かしてみる、早め早めに相談する、何か言われたら対応しよう、というくらいの意識で最初に取り組んでもらえればよいと思います。



Private
Time

休日は身体の疲れを取るためにゆっくり過ごしたいと思いつつ、何もせずに終わってしまうのも後悔するので、家族で旅行や街歩きをしたり、子どもたちと近所の公園等で遊んだり、なるべく外に出かけて気分転換するようにしています。平日は子どもたちと過ごす時間があまりなく、休日に一緒に遊んだりすると、成長の早さに驚きを感じることがあります。